

# 令和8年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第1号 (果樹)

令和8年5月14日発表 (対象期間: 令和8年5月14日~6月中旬)

## ●PCでアクセス

ひろしま病害虫情報

検索

掲載アドレス↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>

## ●スマホでアクセス

ひろしま病害虫情報

二次元コードはこちら →



お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

〒739-0151 東広島市八本松町原6869

電話: 082-420-9662 (直通)

※次回の予報発表は令和8年6月中旬ごろです。

1

## 果樹全般病害虫について

### ①果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ)

予報

多

#### 予報の根拠

- (+): 多発要因
- (±): 平年並
- (-): 少発要因

●令和7年12月~令和8年1月に行ったチャバネアオカメムシ越冬量調査の結果、捕獲地点率は**50.0%** (平年19.9%、図1)、平均虫数は**1.22頭/地点** (平年0.31頭、図2)で、過去10年と比較して**最も多い**越冬量でした (+)。

●呉市安浦町における予察灯への5月第1半旬から5月第2半旬までのツヤアオカメムシ誘殺数は**10頭** (平年0.6頭、図3)で、過去10年と比較して**最も多い**発生でした (+)。

※最新の[フェロモントラップ調査データ](#)は、ひろしま病害虫情報に公開しますので、防除対策の参考にしてください。

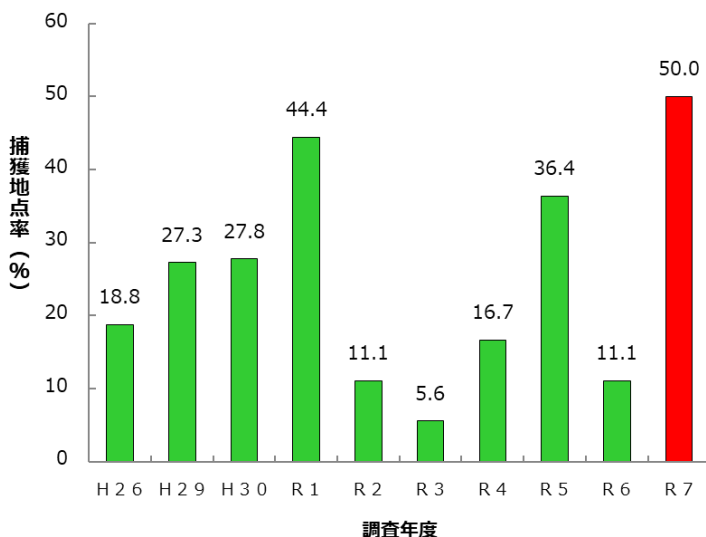


図1 チャバネアオカメムシの捕獲地点率

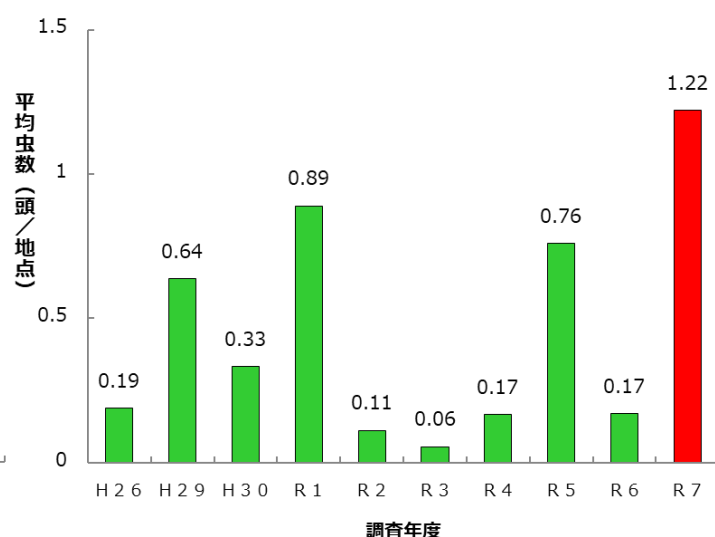


図2 チャバネアオカメムシの平均虫数

※H27、H28は調査地点数が少ないためデータから除外した。

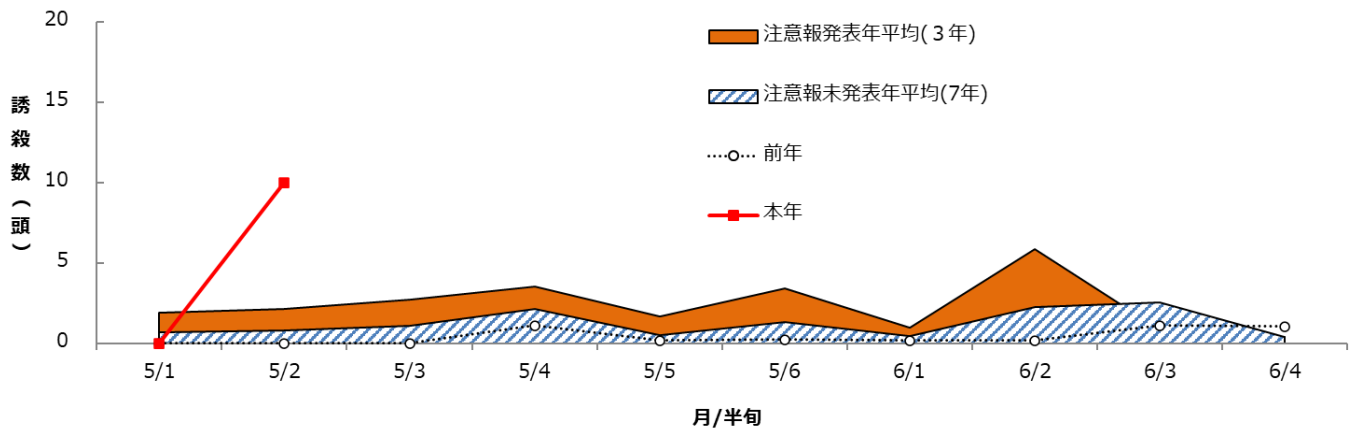


図3 予察灯へのツヤアオカメムシの誘殺数



左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ

## ②チャノキイロアザミウマ成虫発生予測



果梗部のリング状被害

●チャノキイロアザミウマは、主に防風樹として利用されているイヌマキやサングジュなどが発生源となり、果樹園に飛来します。この虫に果皮を加害されると外観が著しく悪くなります。

●チャノキイロアザミウマは、気温の推移から成虫の発生が多くなる時期（発生ピーク）を予測することが可能です。**防除適期は、発生ピークの7日前からピーク当日**です。

※ 表1を参考に、発生ピーク予測日に合わせた防除を行ってください。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫発生ピーク予測日

今後の気温	発生ピーク予測日	
	第1世代	第2世代
平年より高い (+1℃)	5月20日	6月16日
平年並	5月21日	6月19日
平年より低い (-1℃)	5月22日	6月22日

※生口島アメダスデータに基づく



チャノキイロアザミウマ  
(体長0.8mm程度)

病害虫名	現況	予報	防除上の注意事項
かいよう病 (新葉)			<ul style="list-style-type: none"> <li>●細菌病であり、風雨によって伝染するため、今後の気候には注意しましょう。</li> <li>●伝染源となる罹病葉、枝は速やかに除去し、ほ場から持ち出します。</li> <li>●5月下旬から6月上旬にかけて、銅剤による防除を行います。ただし、樹勢が著しく低下している場合は散布を控えます。</li> </ul>
そうか病 (旧葉)			<ul style="list-style-type: none"> <li>●発病した葉や枝を速やかに除去し、ほ場から持ち出します。</li> <li>●発生園では、落花直後の防除を行います。</li> </ul>
ミカンハダニ (旧葉)			<ul style="list-style-type: none"> <li>●梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布します。</li> <li>●冬季又は春季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場、前年発生が多かったほ場では発生に注意します。</li> </ul>
ナシマルカイガラムシ			<ul style="list-style-type: none"> <li>●樹幹内部の主枝、側枝にもしっかり農薬がかかるように散布します。</li> <li>●歩行幼虫の発生が予測される5月下旬から6月上旬に防除を行います。</li> </ul>
アブラムシ類			<ul style="list-style-type: none"> <li>●開花期防除を徹底します。</li> </ul>

## ①かいよう病

現況

並

予報

並

## 予報の根拠

(+) : 多発要因  
 (±) : 平年並  
 (-) : 少発要因

- 巡回調査での新葉の発病葉率は、レモンで0.14%（平年0.30%）、ネーブルで0%（平年0.03%）であり、合計0.11%（平年0.24%）と平年並の発生でした（±）。
- 発生地点率は、レモンで9.1%（平年7.4%）、ネーブルで0%（平年1.7%）であり、合計7.1%（平年6.1%）と平年並の値でした（±）。
- 向こう1か月の降水量は、平年より少ない確率が40%です（-）。

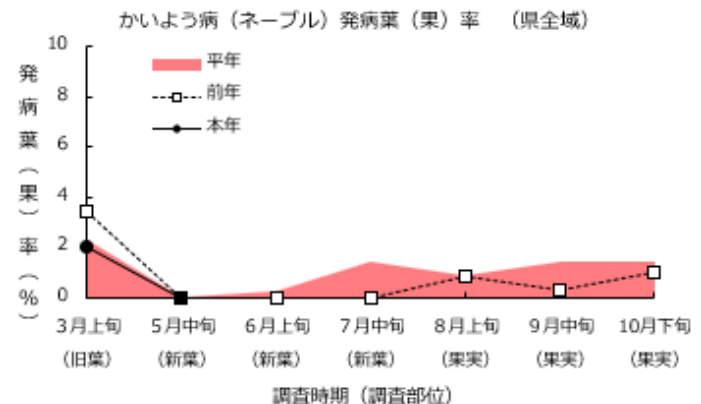
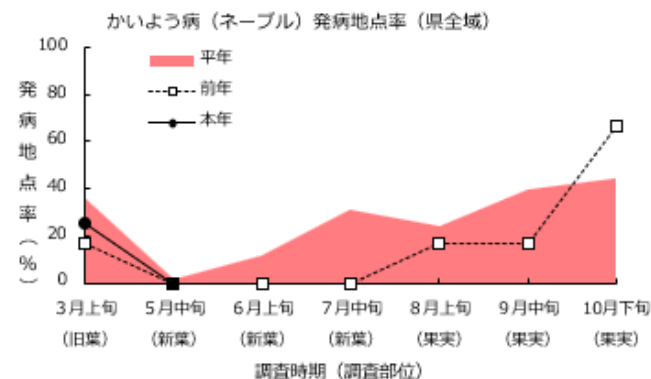
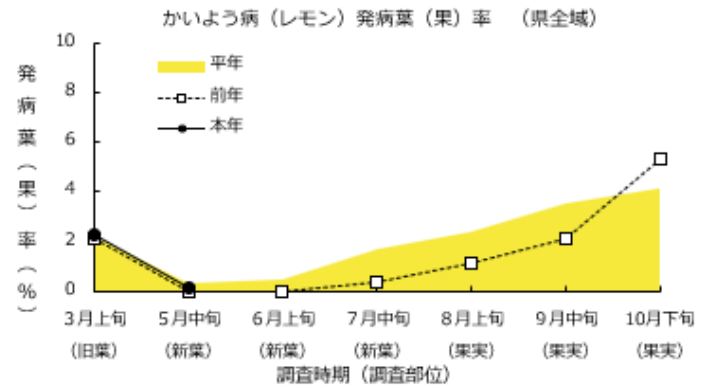
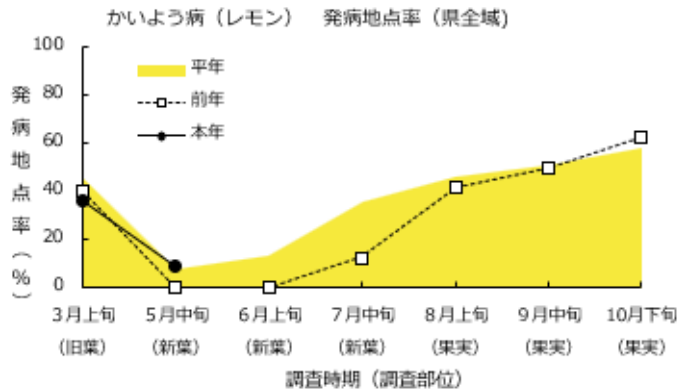
## 【防除上の注意事項】

- 細菌病であり、風雨によって伝染するため、今後の気候には注意しましょう。
- 伝染源となる発病した葉や枝は樹上から除去し、ほ場外に持ち出します。
- 5月下旬から6月下旬にかけて銅剤による防除を行います。寒波被害等により著しく樹勢が低下している場合は散布を控えます。
- 高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あけます。
- マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用せず、これらの剤との散布間隔は7日以上あけます。
- 無機銅剤（コサイド剤など）の散布を行う際は、クレフノン（希釈倍数：200倍）を加用します。



罹病葉

## 【巡回調査データ】※県内全域まとめ



## ②ミカンハダニ

現況

やや多

予報

やや多

## 予報の根拠

●巡回調査では、発生地点率は39.1% (平年24.7%)、寄生葉率は2.7% (平年2.7%) で、平年よりやや多い発生でした (+)。

(+) : 多発要因  
(±) : 平年並  
(-) : 少発要因

●向こう1か月の気温は平年より高い確率が50%、降水量は平年より少ない確率が40%です (+)。

## 【防除上の注意事項】

- 梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布します。
- 冬季又は春季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場、前年発生が多かったほ場では発生に注意します。



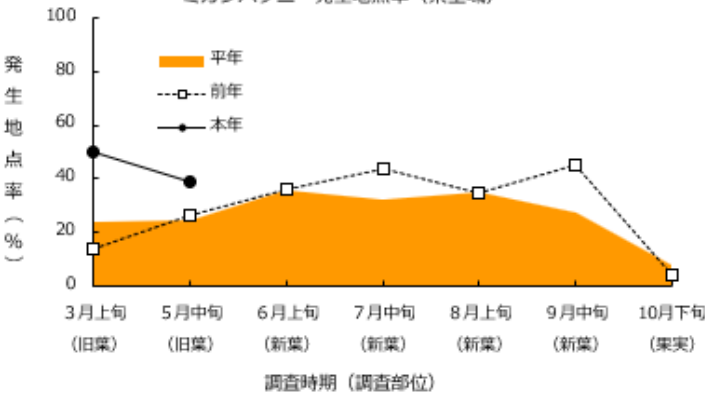
雌成虫  
(体長0.5mm程度)



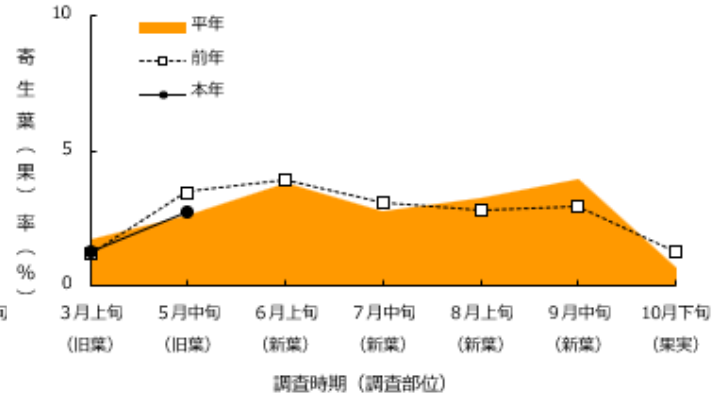
葉のかすり症状

## 【巡回調査データ】

ミカンハダニ 発生地点率 (県全域)



ミカンハダニ 寄生葉率 (県全域)



## 【マシン油乳剤について】

## ●マシン油乳剤とは？

- 機械油と乳化剤を混合したものです。
- 気門を封鎖し、害虫を死滅させる (気門封鎖系) 物理的防除であるため、抵抗性が発達したハダニにも有効です。

## ●散布時の注意点

- 使用前に必ず製品ラベルをよく読み、倍率や使用時期を守りましょう。
- 調製した薬液は速やかに散布し、使い切りましょう。
- 水和剤やアルカリ性薬剤、銅剤との混用は避けましょう。
- 高温時の散布については、薬害を生じる恐れがあるため、散布は朝夕の比較的涼しい時間帯に実施しましょう。

(広島地方気象台 5月7日発表、5月9日から6月8日までの天候の見通し)

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、2週目は気温がかなり高くなる見込みです。
- 向こう1か月の平均気温は高い確率が50%、降水量及び日照時間はほぼ平年並の見込みです(図4)。
- 週別の気温は、1週目は平年並の確率50%、2週目は高い確率80%、3～4週目は高い確率60%です(図5)。

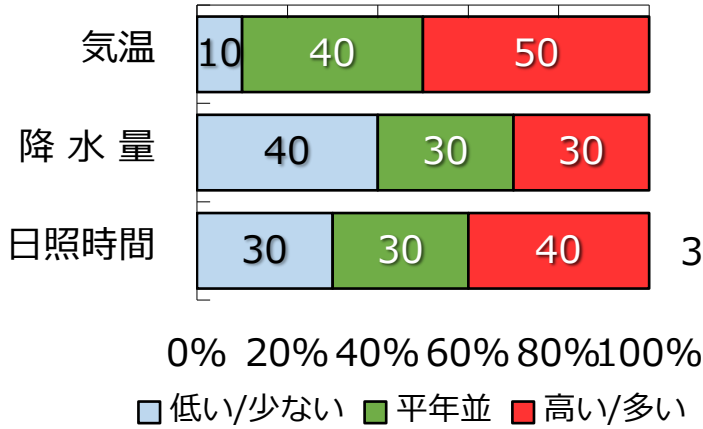


図4 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)

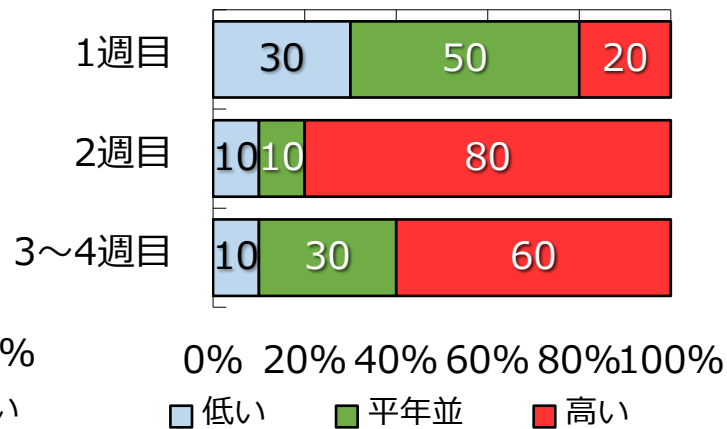


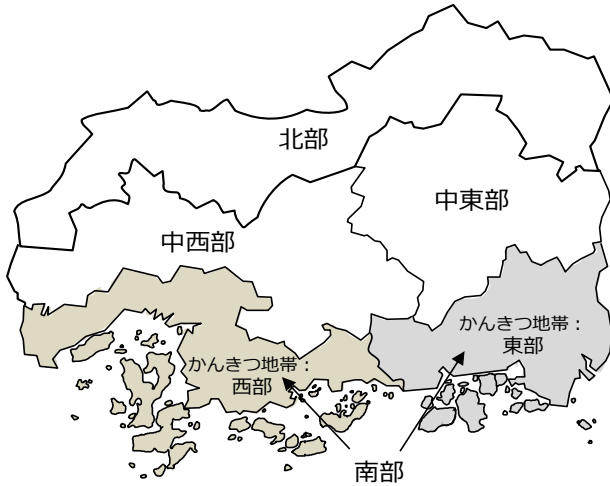
図5 向こう1か月の気温経過の各階級の確率(%)

## 農薬危害防止講習会の開催について

- 広島県では、農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。
- 令和8年度の農薬危害防止講習会の開催場所及び日程が決定しました。
- いずれの会場も、13:20～16:00に開催いたします(本年度より[事前申込](#)が必要です)。
- 農薬危害防止運動の期間中、オンデマンド方式により講習会内容を配信します([事前申込必要](#))。
- 詳細は[県ホームページ](#)をご覧ください。

年月日	時間	場所
令和8年6月2日(火)	13:20～16:00 (受付12:50～) ※事前申込が必要です。	広島市中区基町10-52 広島県庁本館6階講堂
令和8年6月16日(火)	※希望者に対し、講習会終了後、広島県植物防疫協会による広島県農薬適正使用アドバイザーの認定試験が行われます。	東広島市八本松町原6869 県立総合技術研究所農業技術センター1階講堂
令和8年6月30日(火)		福山市東深津町3-2-13 備後地域地場産業振興センター4階大会議室

## 【カンキツの地帯区分について】



西部：竹原市以西の沿岸島しょ部

東部：三原市以東の沿岸島しょ部

## 【現況・予報の区分について】

「現況」「予報」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分は、原則として過去10年間の同時期の調査結果の数値を発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

- 「多」 : 1番目（最多年）と同程度以上
- 「やや多」 : 2～3番目と同程度
- 「並」 : 4～7番目と同程度
- 「やや少」 : 8～9番目と同程度
- 「少」 : 10番目（最少年）と同程度以下